

Lend a Hand 一手を貸そう



2003-2004年国際ロータリーテーマを実行しよう



「やり残しのないように」

国際ロータリー第2650地区

2003～2004年度 ガバナー

福井正典

古いしきたりで冬至の日には「ん」の二つつくものを食べると良いと言われます。「なんきん、れんこん、きんかん、かんてん、ぼんかん、にんじん、ぎんなん」運がいっぱいというわけ、前向きに運をつかみましょう。

過去は振り返らず前を向いて

会長、幹事の皆様、上半期6ヶ月目を迎えました。年末を迎え何かと気ぜわしいかと存じます。月日のたつのは早いとも思えます。上半期の奉仕活動を反省し、やり残しのない様に締めくくり、下半期のより一層の奉仕活動をゆとりをもって実績をあげてくれる様に計画を確実なものにしましょう。

年度の折り返し点 過去を振り返らず、新しい方向に前進しましょう。そして良い新年を迎えましょう。

家族に手を貸そう

マジアベR I 会長が家族の重要性を提唱されたことを称えて、家族に手を貸そう。クラブ家族が全員参加できる楽しい月間にしましょう。

献身的な奉仕にお礼を

地区大会 多数のご参加を賜り、各クラブ会長・幹事・SAA・出席委員長その他関係者には大変ご協力ご支援を賜り、心からお礼申し上げます。ホストクラブ6RCの大会役員委員を初め、会員ご家族の皆さまの企画から準備、実行と献身的なご奉仕をしていただき感謝を申し上げます。

全員参加で楽しもう

国際大会の目的

1. 国際レベルにおいて、全ロータリアン、特に次期クラブ会長R I及びロータリークラブの次期役員を鼓舞、激励し、かつ情報を与え、これによって地区レベル及びクラブレベルにおけるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲を起こさせようとするものであります。
1. ロータリー家族の世界的会合であるから、国際大会の本来の目的を減じない限り、社交及び余興条項でロータリーの親睦を祝うことは妥当と言えます。参加して楽しみましょう。
引続き5月22日～26日京都デーにはじまる大阪での国際年次大会へのホスト地区としてをお願いを重ね重ねお願い申し上げます。

大いなる英知を喚起しよう

国際ロータリーの使命

1. 国際ロータリーの使命は、加盟クラブによるロータリーの綱領遂行を支援すること、つまりロータリー活動の原点はそれぞれのクラブを構成する一人一人のロータリアンの自覚と行動が、クラブを活性化し、未来への発展につながっていくとされています。
1. 21世紀に入り、国際ロータリーとロータリー財団の全世界における活動は益々その重要性をましめてきています。皆様ご承知のとおり、国際ロータリーは世界中のロータリーの連合体であり、国際ロー

タリーの使命は個人と団体による奉仕活動を強調し、人間の品性と生活の質を高め、高度の道徳的水準を奨励し、世界平和の推進のためあまねく人々の大いなる英知を喚起しつつ、ロータリーが世界における親善と平和の確立に貢献できるようにロータリアンとロータリー・クラブの綱領の遂行を支持することとされています。

地域に役立高を広げよう

ロータリー財団の使命

地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的文化的、プログラムを通じて国際ロータリーの活動を支援すること。

ロータリーの活動は国際的活動とともに、新しい地域社会援助プログラム（CAP）の提唱された地域に密着し、地域にお役に立つ奉仕が次第に知己に広報され、ロータリーが正しく地域の人々に理解されるように努力することにより、更に、このことを継続発展させるために、2002年4月の管理委員会決定で、地区内または国内のプロジェクトに対して補助金を授与するプログラムが承認されました。

国際奉仕でなくとも、社会奉仕にDDF（地域財団活動資金）を使う道が開かれました。小規模とはいえ、国際性を強調してきたロータリー財団の、大きな転換点を意味します。2001年1月からスタートし、2002年12月31日にCAPとしては終了し、以後地区補助金という名称になり、より発展していくものと思われます。

地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントと共に活用しましょう。これらを地区ロータリー財団委員会、地区補助金委員会と相談して下さい。

新しい会員が続々集まるロータリークラブ作りに取り組む努力しましょう。

心清通天地

「心清ければ天地に通じる。」と申しますが、まさにロータリアン一人一人の「手を差しのべ、手を貸す」の心清く、天と地に通じたのでしょうか。地区大会当日の天候は晴天。スムーズな大会運営に手を貸してくれました。皆さん、本当にありがとうございました。

今日からはロータリアンが、天と地に、それこそ、おかえしの意味からも地球を、宇宙を大切にしてください。ロータリーの未来を宇宙から見た人類の未来から考えることに、手を貸しあいましょう。宇宙的視野から、地球環境の汚染の現状を考え、「人に優しいテクノロジーって何だろう。地球を思いやる進歩って何だろう。」と問いかけ、アクションにつなげましょう。地球家族のすべてに人類はひとつであると認識し、恵まれない兄弟姉妹に喜んで手を差しのべて下さい。手を貸せる幸せをこの地区大会を機に、もっと大きくしましょう。そして、平和な楽しい安全で安心な地球にするために手を貸し合いましょう。

大会テーマ「ロータリーを楽しもう」に参加して下さった板橋RI会長代理ご夫妻様を始め、千国際大会委員長、山田知事、八田学長、小谷RI元理事、同期ガバナー、パストガバナー、ご来賓の皆様、ご令室様、そして、ロータリアン一人一人が主役を演じて下さったこと心から感謝とお礼を申し上げます。そして、ホスト6RCのロータリアンすべて、同志社大学の関係者、けいはんなのみなさん、「ATRとロボット」のみなさん、裏千家本間先生のお茶席のみなさんとスタッフの全員が日夜をわかつたず、2カ年にわたり、連日連夜にわたり熱演をして下さり、一人一人が嬉し涙を流し、手を貸せる喜びを感じることができましたことにお礼申し上げます。

これからが本番「国際大会の成功」に向けて、板橋RI会長代理ご夫妻の親身なアドレスのもとに、堀場パストガバナーの「おもしろおかしくロータリー」を、畚野博士の「宇宙から見た人類の未来」に手を貸し合い、千委員長の「21世紀のロータリー」を21世紀のモデル都市けいはんなから、八田学長の「同志社大学京田辺キャンパス」の地より、大きく発信できたと思います。

そして、しめくりに来るべき5月22日の京都デーに始まり、26日までの「国際大会」に全員登録・「全員参加」することに両手を貸して下さい。以上よろしくご願い申し上げ、地区大会のお礼と感謝のご挨拶とさせていただきます。

お願い

- ◇ 半期報告 幹事に念を押しましょう。
- ◇ 平和の日 2月23日のRI創立記念日と世界理解と平和の日の計画を立てましょう
- ◇ 公式名簿 記載資料の提出締切期日にクラブとして守ろう
- ◇ 第2回合同地区委員会 2月7日（土）開催します。
- ◇ RI国際大会を集中的に推進し始めましょう。

以上、の実現に、お1人おひとりの「手を貸そう」ではありませんか。

地区大会の御礼

地区大会実行委員長 佐野 貞夫 (京都八幡RC)



晩秋のけいはんなの地に、2003年11月15日、16日の両日 RI 理事板橋敏雄氏を RI 会長代理に、そして RI 元理事千玄室氏、小谷隆一氏を迎えて RI2650 地区、地区大会を開催し 3,128 名のロータリアン、青少年等ゲスト 264 名の参加のもと盛大に行こなわれました。ご参加いただいた皆様には心からお礼を申し上げます。

洛南 6R 共同ホスト、宇治、京都市陽、京都八幡、宇治鳳凰、京都田辺、京都山城 200 余名からなる実行委員会が活動、福井ガバナーの地区大会テーマ「ロータリーを楽しもう」にふさわしく、広大なロケーション、けいはんな、同志社大学田辺キャンパスを充分に取り入れ、手づくりの地区大会を楽しんでいただいた事と存じます。

本大会以外にプレ大会 11 月 14 日にポリオ撲滅募金活動キャンペーンチャリティゴルフコンペを開催、参加者から多くの浄財が寄せられ贈呈することが出来ました。

昨年に引継ぎ「新会員セミナー」を開催、堀場バスターガバナーの講話「おもしろおかしくロータリー」をテーマに新会員以外のロータリアンも熱心に聴講していただきました。セミナー参加者には午後の本会議にも出席、ガバナー補佐のクラブ担当現況報告、地区委員会報告、大会決議案上程など例年になく研修の成果があった事と思います。

第 2 日目は早朝より新世代セミナープログラム、けいはんな「私のしごと館」に職業体験 260 名が参加。家族エクスカッションは紅葉の一休寺、松花堂に 38 名のご家族が親睦を深めていただきました。

本会議場同志社大学田辺キャンパスには最新ロボットが出迎えました。宇宙の神秘、人との対話をするコミュニケーションロボットなど、ロータリーもロボットと共に奉仕活動をする近い将来に訪れる事を楽しみにしております。

基調講演は RI 元理事千玄室氏の格調ある「21 世紀のロータリー」、記念講演は工学博士畚野信義氏による「宇宙から見た人類の未来」は多くの人々に大きな示唆と感動をいただきました。

次の新世代、親睦と友情をいただいたロータリアンの皆様、この大会が初期の目的を達し、新しい地区大会のあり方にご賛同いただいたものと確信致しております。

あらためて心からお礼申し上げます。

不行届の点、何卒ご容赦下さいますようお願い致します。



ロータリー理解推進月間「2004年規定審議会に期待」

2003-2004年度 地区規定審議委員会
委員長 石原 義紀 (福井北RC)

規定審議会は、1972年以降、RIの立法機関となっており、RIの組織規定を改正する権限をもっています。そこに提出される立法案には、RI定款、細則または標準ロータリークラブ定款を改正する意図をもつ制定案とRIの組織規定を改正したり、組織規定に抵触したりすることなく、意見を表明したり、方針や手続きを推奨したりする決議案があります。

2004年6月シカゴで開催される規定審議会には、第2650地区、桜井ロータリークラブの「出席規定の適用を免除された欠席を、出席統計から除外する件」を含め日本から16件、全世界のクラブや地区から500を超える立法案が提出されています。個々のロータリアンは直接クラブに影響する立法案に最も関心が向きます。例えばクラブ例会、クラブ会員、出席やクラブ管理などです。

クラブや地区が提出した立法案のほんの一部を挙げてみますと

- a. クラブが例会のスケジュールを独自に設定する件、毎月最低2回の例会を認める件や年7回まで例会を取りやめることを認める件など
- b. 義務づけられている出席規定を削除する件、出席報告書の提出を取りやめる件、会員の代わりに配偶者が出席した場合には、出席と認められる件
- c. 正会員が裁量の権限ある管理職の重要な地位にある事業主などであるなどの資格条件を削除する件、法人会員を認める件、専業主婦を正会員として認める件

d. ポリオ・プラス完了後、次の国際キャンペーンは、「きれいな飲み水」、「結核」、「HIV/エイズ」、「世界から貧困をなくす」など、それぞれの新たなプログラムを要請する件のほか、又逆に、少なくとも6年間は、新たな国際的なキャンペーンの実施を差し控えることを要請する件も提出されている

e. RI細則に、旅費の弁済に関する方針を盛り込む件、毎年会長及び会長エレクトに支払われる感謝料を廃止する件などである。

RI理事会から提出される立法案としては a. RIの第2標語から性別限定用語を削除する件では、2004年規定審議会が「One Profits Most Who Serves Best」をロータリーの第2標語として採択するよう決議する。

b. 人頭分担金を増額する件では、現在、年間35ドルを次年度から毎年4ドルずつ増額し、39ドル、43ドル、2006-2007年度およびその後は年額47ドルを支払うこととなる案件などが提出されます。

どの案件が可決されるか興味を持って見守ることもロータリーの理解推進に役立つものと思われます。国際ロータリーは、いろいろな文化、習慣、人種、経済レベル、思想をもった人々から成り立っています。意見の相違があるのは当然ですが、ロータリーが次のサンタニアル向かってより発展的な、より効果的な奉仕団体として活動できるような審議を2004年規定審議会に期待しましょう。



変貌するロータリーに対応、そしてロータリー理解推進を!!

2003-2004年度 地区ロータリー情報委員会
委員長 瀧上 勝夫 (勝山RC)

近年、環境破壊による災害・経済不況・国家紛争など、問題が山積しています。それに伴い、ロータリーも変貌しつつあります。クラブ内での会員増強・出席・職業分類などの基本的概念からロータリー財団・米山奨学金に至るまで、従来の手順から次々に変化しています。

ロータリーの変貌を憂い、墮落を悲しむ向きもありますが、これは個人奉仕から集団奉仕に移行して、個人の修練がないがしろにされるという懸念からです。

ロータリーのルール、すなわち情報は、世界中の知能を集め、百年という長い年月を経て作られた奉仕への道程であります。手続き要覧を熟知し、ロータリーで実践することが大切です。我々一人一人の発意が、大きな奉仕事業となるのです。

福井ガバナーは、クラブ訪問の際、情報の徹底に苦慮しているクラブが意外に多いことから、クラブ会員のロータリー情報のあり方について心配しておられます。

我々は、現実を直視し、ロータリー情報を見直して変革する必要があります。

その一助となることを願って、地区情報委員会は、今回「ロータリー情報マニュアル」を作成しました。

また、このマニュアルが、ロータリーを理解し、ロータリーの楽しみを見つけだす助けになれば幸いと考えています。

ロータリアンのみなさん、このマニュアルを読んで積極的にプログラムに参加し、大いにロータリーを楽しみましょう。

…今さら人に聞けない…

ロータリー情報 マニュアル

ロータリアン必携



**11月15日
発刊**



ロータリー情報委員会

A4版・2色カラー・44ページ／定価 600円

申込先は… **FAX.0779-87-2560**

R.I.2650

地区ロータリー情報委員会まで

海外研修をおえて

地区ローターアクト委員会 委員長 木村吉男(草津RC)



今年度地区ローターアクト海外研修は、4日間の日程でタイ国プーケットにおいて行われました。ローターアクト海外研修の目的は、海外のローターアクトクラブとの交流を通じて、国際理解と全人類に対する善意を推進する事にあり、その企画、折衝、手続き、準備等全てを、アクターが自分達の手で進める事に意義があります。今回は国際ロータリー第3330地区プーケットロータリークラブとプーケットローターアクトクラブとの合同事業を開催する計画にありました。それは、マングローブの植樹事業でありました。私も今回の研修で初めて認識したのですが、ここ近年マングローブの不法伐採が増加し、海辺の小魚やカニ類の生息場所や産卵場所が減少し、その生態に大変な影響を与えているという事でした。それではマングローブがなぜ伐採されるのか？

それはここ数年の日本において、アウトドアブームが続き、実はそれに使う炭として日本に輸出されているという事です。もちろん日本においても木炭は生産されておりますが、生活必需品でなくなった木炭の生産家が著しく減少した事、そしてタイ国の物価との差による価格の違いに問題があると思われまます。近年、タイ政府も不法伐採の取締を強化しつつはありますが、既に伐採されたあとには、簡単には新しい芽がでないという事で、プーケットローターアクトクラブでは数年前から、マングローブの植樹を事業として取り組んでこられました。そこで2650地区ローターアクトも是非これに協力しようという事で、計画を立ててまいりました。当日、プーケットロータリークラブのナロンチャイ会長を始めとする多数のロータリ

アンとアクター、そして我が地区よりの35名を加え、総勢100名余りの人達が、泥に足をとられながら800本のマングローブの植樹を終えました。プーケットロータリークラブの皆さんの心遣いは、大変なものでした。膝までついた泥を洗い流すのに用意された大型タンクローリー、冷やされたミネラルウォーター、苗のポットの回収処分と、実に行き届いた心遣いに、プーケットのロータリアンの暖かさに触れる事ができました。その夜には、ロータリアンの経営するレストランにおいて、ミーティングパーティーが楽しく開催され、片言のタイ語と英語でもって数多くの人達との暖かい交流の場がもたれ、大変充実した一日でした。帰途の直前、カロンビーチの夕焼けを背景に、今回のテーマ「Let's have FAN」を全員で大声で叫び、お互いの健闘をたたえあい喜びと思い出に夕日が沈んでも、なかなか立ち去れずいつまでも話しが尽きませんでした。我が2650地区ローターアクトの行動力と連帯感に改めて感じ入った、今回の海外研修でした。

2003～04年度友情交換プログラムのお知らせ

地区国際交流・On To 大阪委員会 委員長 山本和秀(京都山城RC)

日々ロータリー活動にご尽力くださりましてありがとうございます。

さて、本年度友情交換プログラムの予定が出来上がりました。つきましては本プログラムの趣旨と予定をご案内させていただきますので貴クラブにてご紹介くださいますようお願い申し上げます。

友情交換プログラムとは、ロータリアンとその配偶者が海外のロータリアン夫妻と相互に訪問しあい、相手国のロータリアンの家庭に数日間滞在するプログラムです。その目的とするところは、国境を越えた個人対個人の交流を通じて自分自身の視野を広げるとともに国際理解、親善および世界平和を推進するところにあります。

参加者は原則としてロータリアンとその配偶者ですが、ロータリアンとその家族というカップルでも結構です。

ただ、このプログラムの趣旨から当然ではありますが、こちらから訪問した海外のロータリー地区からも同条件でわれわれの地区にも来られます。そこで、このプログラムで海外に行っていたいただいたロータリアンには、海外から来られるロータリアンカップルのうち1カップルのホームステイを受けていただくこととなります。

今年度のプログラムについては下記の予定です。

相手地区：RI1240地区(イギリス ロンドンから北東部)

日本チームの訪英：2004年4月13日(火) 日本発
4月19日(英時間) 現地(イギリス)にて解散

英国チームの来日：2004年5月21日(金) 日本着
5月27日(木) 現地解散

募集期間：2003年12月15日(月)～2004年1月20日(火)

申し込み用紙はガバナー事務所に用意させていただいております。

なお、本プログラムについてのご質問等は下記地区委員にお尋ねくださいますように。

福井県：岩井 信彦(敦賀RC) 京都府：山本 和秀(京都山城RC)
滋賀県：正村 嘉規(彦根RC) 藤井 眞一(京都西北RC)
奈良県：大谷 信幸(生駒RC) 大橋 智夫(京都平安RC)
倉本 堯慧(奈良東RC)
橋爪 宗和(奈良RC)
北之坊和代(王寺RC)

～楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう～

＝友愛の家紹介＝

国際大会のひとつの花は、“友愛の家”のプログラムです。大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、また、ステージを含めて3階および2階のほとんどすべてがのすべてが“友愛の家”広場となります。多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。

● 展示ブース

- ・ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ロータリー第2世紀へ向けての計画

● 販売コーナー

- ・ロータリーグッズ
- ・日本のおみやげ
- ・その他、国際大会(関西)記念グッズなど

● 軽食コーナー

- ・サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

● 呈茶席

- ・日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストレーションを含めての紹介コーナー

● イベントコーナー

- ・ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏(三味線、尺八、琴、笛など)
- ・ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

● インターネットカフェ

- ・自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

“友愛の家”もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。“友愛の家”で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう！



幸田 繁男会長

幸田会長の横顔

大和郡山ロータリークラブ 幹事 前川 真澄

大和郡山ロータリークラブは、聖徳太子様の「和を以て貴と為す」の精神で会員相互のつながりを大切にするクラブです。

第41代会長の幸田繁男さんは気さくで誠実な人柄で、気配りが行き届き、物事を的確に判断されて会員諸氏の信頼は絶大です。

今年度の基本方針を「調和のとれた明るい楽しい例会づくり」とされ、ロータリーの原点である例会を中心としたクラブのあり方について提案されています。

幸田さんは私の高校の先輩で、大和郡山市特産の金魚の養殖をされており、つい先年まで奈良県郡山金魚漁業協同組合の組合長を勤められ、毎年8月に行われる「全国金魚すくい選手権大会」には役員として先頭に立って活躍されています。

若い頃には青年会議所のメンバーとして、城下町・大和郡山の伝統行事であった「源九郎稲荷白狐お渡り」を10数年ぶりに復活させるなど地域のリーダーとして幅広い活動をしてこられました。

クラブの運営には「楽しくなければクラブの発展はない。」と、奉仕活動も各委員長の自由な発想を大切にしながらリーダーシップを発揮しておられます。



前川 真澄幹事

新会長の横顔

武生府中ロータリークラブ 幹事 川端 富士雄

垣内会長は、昭和15年生まれの63歳です。昭和61年に入会され、17年の間に職業奉仕・会員増強・国際奉仕各委員長をなされ、現在27代目の会長です。

昭和30年に藁縄の製造販売から、企業をスタートさせ現在ではダンボール及びプラスチック製品製造・販売を扱う武生でも有数の企業に育て上げた苦労人社長です。

我クラブは、27年目を迎えております。近年は会員数が減少傾向にあり、会長は重点目標に「会員相互の職業を通じ職域がよくなるように協力して、クラブの親睦の和を広げてゆく」を掲げ、クラブ会員の増強と活性化と同時に、楽しいクラブ作りをと考えておられます。しかし、会長本人は全く



垣内 勝美会長と御家族



川端 富士雄幹事

お酒は飲めませんが、当クラブ内では大変お付き合いがよく、いろんな夜の会合のお付き合いの誘いには滅多に「NO」とは言わない人です。私も幹事をお引き受ける際に、「NO」と言えなかったのもそんな会長のお人柄を見ていたのかもしれないと思っています。

1年間会長と共に楽しいクラブ作りに取り組んで参ります。

子育ての社会支援を使命とする

桜井ロータリークラブ 幹事 南 明

桜井ロータリークラブの拠点である桜井市は古代、大和朝廷の礎をなしたところで、数多い古文化財を有し、万葉集の舞台となった山や丘が連なり「万葉のふるさと」と言われています。

本年度、当クラブは『ロータリーを魅力あるものにしよう』というテーマを掲げ、好意と友情を深めると共に、青少年の健全育成に重点を置いた活動を展開しています。

河村会長は、児童福祉施設を運営する社会福祉法人の理事長であり、特に地域における「子育ての社会支援システム」の構築を使命として、青少年の自立のための健全育成に尽力されています。

子育てに悩んでいる、困っている、問題がある家庭への相談・援助を専門に行う「児童家庭支援センター」を地域に根付かせるなど当クラブの活動方針はうってつけの人物です。

来年度30周年を迎え、円熟期である当クラブですが、マンネリズムに陥ることのないように新たな活力を生み出していただけることを期待しています。



河村 喜太郎会長と御家族



南 明幹事

宮川会長の横顔

彦根南ロータリークラブ 幹事 松宮 一



宮川 孝昭会長と御夫人



松宮 一幹事

彦根南ロータリークラブ第26代宮川孝昭会長は彦根の地場産業である伝統工芸の仏壇、仏具製造販売で、びわこテレビのコマーシャルにもたびたび出てくる創業文政3年の老舗、株式会社永楽屋の社長です。

現在、彦根商工会議所副会頭、彦根仏壇事業共同組合理事長と公職の激務を若さで？なんなくこなされております。本年度宮川会長は「不易流行」「より明るく・より楽しく・より豊かな未来に・誇れる希望」を方針に掲げられ奮闘されておられます。

青少年の育成という創立以来25年間の先輩方の思いを引き継ぎ、青年会議所時代の友人、知人を介して会員増強に力を入れておられます。趣味も多彩でゴルフ、小唄、読書等の合間に夜の飲み会、その他にと24時間有効に使われておられます。

宮川会長はいつも大恋愛の末結ばれた富子夫人のことをこのように言っておられます。「昔は嫁に口答えをしたが今はただ口答えせずひたすら、黙ってうつむいているだけ」？熱い話を耳にタコができるくらい聞いております。

宮川会長が仕事に、公務に没頭できるのも明るい性格の富子夫人の影の力だと思います。私も、あと任期が半分近くになりましたが、富子夫人同様宮川会長を一生懸命補佐してまいります。

夜の飲み会、その他を少し減らされて健康に留意され、ご活躍いただけますようお願い致します。

最後になりましたが任期が終わりましたら二人で美味しいお酒を飲みましょう。奥様とはどこかのんびりと旅行に連れてあげてください。



乾 満久会長と御夫人



和多田 久太郎幹事

新会長の横顔

京都朱雀ロータリークラブ 幹事 和多田 久太郎

京都朱雀ロータリークラブは、当年で創立11年目を迎えました。11代目にあたる乾 満久会長は、江戸時代より寺町松原において仏具製造販売を手掛けておられます。こう紹介しますと堅苦しく感じられるかも知れませんが、いたって気さくな方です。

今年の会長方針は「楽しく坦々と無理せずに熟して行きましょう。」ですが、その言葉どおり例会でも、非常に楽しい会長挨拶から始まり、会員一同リラックスした雰囲気卓話を聞き、最後に楽しい閉会宣言にて終了します。

豪放磊落な雰囲気を感じられますが、内面はとても繊細な気配りをされる人柄です。幹事の役目柄、会長と行動を共にする事が多々ありますが、常に一步リードし私を引っ張っていただいています。

しかし、夜の例会では何かにつけて我儘で言いたい放題ですが、人を傷つける事無く、好かれるかなり良い性格の持ち主です。でも付き合っている私の方は、何時もはらはらドキドキの連続です。

会長に仕えて約5ヶ月ですが、楽しい一年になりそうです。

会長の横顔

びわ湖八幡ロータリークラブ 幹事 土生 喜章



川崎 利治会長と御夫人



土生 喜章幹事

滋賀県の真ん中(中心では無い)の地域にある近江八幡にあるRCです。昨年3月22日に15周年を迎えて本年16代目びわ湖八幡ロータリークラブ会長に拝命された川崎 利治氏を、図らずも不肖私が幹事役として、お傍らにはばかりの事のご縁を頂きました。

私と会長の出会いは、平成7年5月に入会させて頂いたとき、幹事をされておられ何分未熟な私を、特に3年前に会長が副会長の年に、私は国際奉仕委員長でお世話になり色々ロータリーの事を教えて頂きました。

このクラブには、国際交流が大韓民国の釜山大洋RCと台湾の台北北門RCとの姉妹クラブがあります。会長のご令嬢は、韓国語を独学され市国際交流事業や当クラブのホームステイ、来訪時にもお世話に成っております。会長は湖清工業(株)専務取締役でチャーターメンバーで入会され平成8年1月現(株)カワサキ創建、創業です。

15年間皆勤出席で、会長は入会以来今日まで家庭を大切に、仕事に励みそしてロータリーを続けたいとの思いから一歩でも二歩でも前に進んで、ロータリアンらしくなりたいと言っておられました。

本年度のテーマとして「やさしい心で、ロータリーに情熱を、」掲げて、一つの節目である15年が過ぎ、新たに16年目を迎えるにあたり、いま一度、会員ひとりひとりがロータリーの原点に返り、ロータリアンとして奉仕をできる喜びを感じながら活動したいと言っておられます。また川崎会長は前もってきっちり段取りされる方で今年の12月から何度も今年度の理事会を開き準備し、補佐役の幹事である私が細かいことまでも常に教えて頂いてる状態です。ゴルフや宴会の席でも気配りされ、面倒見がよく誰からも好かれる会長です。この一年間健康に留意され、ご指導いただきたいと存じます。



天野 吉郎会長



玉城 博和幹事

新会長の横顔

京都西南ロータリークラブ 幹事 玉城 博和

1926年、大正15年生まれの77歳。若くはないが気持ちと行動は50代で44歳の私(幹事：玉城博和)が追っかけていくのがやっとな。決断が速く、大胆な判断にいつも振り回されている。しかし細事にこだわらない性格と何事も事務方にまかせてくれるやり方のため、幹事にとって誠に“楽な”会長である。

入会して12年と、創立30周年を済ませた当クラブでは会員歴が浅いが、その人柄がクラブで人望を集め、本人は会長の「任」でないと固辞していたが今回やっとなご老体?に鞭打って会長を引き受けていただいた。

会長テーマが「面白く愉快的なロータリー活動を！」で、建前(たてまえ)でなく本音(ほんね)でやろう、クラブの現状と社会経済情勢の“現実”を直視し、背伸びをせず間尺に合った活動・運営を心掛ければ会員にもクラブにも余裕が生まれ、自ずとクラブの評価が高まり会員増強に繋がるとの方針である。具体例として年6回、奇数月に「ノーマイカーデー・ふれあい例会」を開催し、当日は卓話なし・アルコール飲料販売・当然マイカー禁止と、食事と会話を楽しむかたわら環境保護にいささかなりとも協力することとしている。

アルコール大好き人間でありながら「保健研究所社長」の自覚が週2日の休肝日を守らせ“まだ10年は現役(何の?)”が売り物の愛すべき会長である。

「ロータリーを楽しもう」新会長の横顔

福井北ロータリークラブ 幹事 多田 伸

わがクラブの会長・前田昇さんは昭和18年生まれ、62年に当クラブに入会されました。「ロータリーを楽しもう・ロータリーに参加しましょう」をテーマに掲げ、クラブ運営に尽力されています。特にロータリー関係書籍には丹念に目を通されており、「退会する会員はロータリーの事を解らないまま辞めてしまっており、例会の場で理解を深めるよう務めていきたい」という考えを、例会時に身近な用語の解説などを通じて実践されています。

市内で歯科医を営まれ、三人の子供さんは独立され、子供のいない歴10年との事、趣味は囲碁、ゴルフ、映画鑑賞、サボテン栽培、読書、スキューバダイビング等々多才、お酒も色々嗜まれ、楽しくお付き合いさせていただいています。タバコの方は12月1日を持って禁煙宣言という事で幹事としても、ここはしっかり押えておきたいと思っています!



前田 昇会長と御夫人



多田 伸幹事

本年度も折り返し地点となりますが、7月の姉妹クラブ(フラトンサウス)からの交換学生受入、11月の100周年記念事業も計画どおり進める事ができました。来年5月には「姉妹クラブ再締結の訪問」と「国際大会参加」のビッグイベントが控えています。会長の強いリーダーシップと全会員のパートナーシップの下、成功に向けて「楽しく、明るく」進めていきたいと考えています。

新会長の横顔

奈良大宮ロータリークラブ 幹事 藤井 正勝



北河原 公敬会長

北河原会長は、「東大寺」の執事の要職に就いておられます。お水取りの行事をはじめ定例のものだけでも年間 200 を超える法要を勤めておられる多忙な日々をお過ごしの中で、会長就任となりました。

考えてみると大仏開眼から 1251 年目にあたり、その歴史には悲田院・施薬院などを設けられ社会福祉に大きくかかわってきたことが伺われ、いわば「社会奉仕」の原点がロータリーと相通ずる精神かと感じます。

多忙な中で、音楽もお好きですし、お酒も楽しめますし、また「ハス」の花を育てておられたり、超多忙。

あと半年、楽しく有意義なロータリーライフでありますよう、またご健康にも留意していただきたいと存じます。私たちもひとつとなって補佐していきたいと考えております。



藤井 正勝幹事

スマートで格調高いクラブをめざして

生駒ロータリークラブ 幹事 津田 忠徳



久保田 正一会長

2003～04 年度わがクラブ第 28 代の久保田会長を紹介します。

久保田会長は入会后、僅か 6 年という浅いキャリアですが、プログラム、会報、職業奉仕各委員長を経て、副会長、会長エレクトを歴任されました。また、教育行政、公立高校の校長、教育委員会教育長と半世紀にわたる教育界での人生経験と、高邁なる識見と豊かな人間性を高く評価され、会長に指名されたものと確信しています。現在、生駒市いこま寿大学学長、学校法人奈良大学の理事等多くの役職に就いて居られます。

会長は、RI 会長の提唱されている「手を貸そう」をモットーに、地区福井ガバナー提唱の「ロータリーを楽しくしましょう」を実践目標とし、更に「スマートで格調高いクラブをめざそう」と会員に呼びかけておられます。そして「仕事に誇りを、仕事に愛情を、仕事に責任を、能力の限りを尽くし、報恩の心をもって社会に奉仕しよう」をわがクラブの信条として、職業奉仕を通して奉仕の理想を追求し、社会に貢献すべくクラブの運営に努力されています。

会長は永年の教育功労に依り、平成 9 年春の叙勲で勲四等旭日小綬章を受章されている。



津田 忠徳幹事

創立 25 周年に向かって

京都西山ロータリークラブ 幹事 平田 喜洋

2004年1月31日(土)、ホテルグランヴィア京都で開催する創立25周年記念式典に向かって会長は着々と行動を起こしている。

財団・長岡記念財団の理事長が職場の顔であり、RCでは前年度まで財団奨学金・財団学友委員長を務めていた。国際結婚されており、外国からのお客様がこられた時は国際奉仕委員長の役割をもされる。

趣味は、陶芸、スキー、ゴルフ、小唄と幅広い。親睦会での小唄の披露を依頼したことがあるが、未だ実現できていない。ゴルフはご夫婦ともされるので、時々一緒させていただくが、そのときだけ幹事と奥様は大きな顔ができる。自宅が近所であるからではないが、いつの間にか幹事になっていたのが実情である。メールが普及したため、報告及び連絡事項等は殆どメールで確認しあっている。



中野 種樹会長と御夫人

平田 喜洋幹事

会長は、「人の幸せは、あなたの幸せ」をクラブテーマとして掲げたが、正に奉仕の原点である。会員数は少ないがクラブ内の結束が高いのが当クラブの良いところ、と他クラブに吹聴(?)している。

会長は、「人の幸せは、あなたの幸せ」をクラブテーマとして掲げたが、正に奉仕の原点である。会員数は少ないがクラブ内の結束が高いのが当クラブの良いところ、と他クラブに吹聴(?)している。

二度目の会長

京都紫竹ロータリークラブ 幹事 祐森 昭郎



元氏 功会長



祐森 昭郎幹事

当クラブも早いもので創立13年目を迎えております。創立当時は、何もわからない事ばかりであったと聞いておりましたが、クラブの特色が始めた8年目に会長となられ、紫竹独自の方針を打ち立てられました。それから5年、今回は会長エレクトが急に退会されるという一大事が起こり、次の会長探しに大変困りはてているところ「誰も見つからないんやったら私がしてやる」と手を挙げて下さりました。幹事の私といたしましては2回目の会長は大変頼もしく、困り事、解らない事すべて会長にお聞きする事ができ、助かっております。又、「前回の時は遠慮もあったが今回は言いたい事ははっきり言える」ともおっしゃっておられ、素晴らしいリーダーシップを発揮されておられます。当然若い会員、新しい会員の面倒もよく見られ、私もよくかわいがって頂いております。公式訪問、地区大会も終わり、あと半年、クラブ一丸となって頑張ります。地区内の皆様どうぞ宜しくお願い申し上げます。

地区内各クラブ事業報告(1)

「ポリオ撲滅チャリティ公演」

京都西山ロータリークラブ 幹事 平田 喜洋



9月28日(日)長岡京市立中央公民館において、「ポリオ撲滅チャリティ公演」を開催いたしました。落語家・桂 ざこば氏の一番弟子である桂 都丸氏を招き、「落語ってな〜んだ」の演題で上方落語のしきたり等をおもしろおかしく勉強しました。また、日頃、表に出ないお囃子の方に舞台に出てもらい、各著名な落語家のお囃子を弾いていただいたり、お客さんの入場、舞台の終了するときの太鼓の叩き方とその意味を説明してもらいました。また、最後に桂

まん我氏と落語を一席ずつ披露してもらい笑いの渦に全員が巻き込まれました。当日は園田地区ポリオ撲滅募金活動キャンペーン委員長も応援に駆けつけていただき、会場入り口に写真等を展示し、来場者にポリオの実態を説明していただきました。また公演開演時には入場者にポリオの意味および現状を説明していただきました。集まりました募金 80,954 円はポリオ撲滅基金へ送金させていただきます。

「あらぐさまつり支援」



11月2日(日)に長岡京市立産業文化会館において、無認可重症心身障害者施設あらぐさが主催の「あらぐさまつり」が開催されました。当クラブとして会館前広場において「なんでも市」を開き、野菜、果物、会員から提供された余剰品を販売しました。当日は会員の家族、国際青少年交換学生・グレーシーさん、米山奨学生・金君も朝から出席して品物の陳列および値札付けに協力してもらいました。二人とも、品物の引渡し、お金の徴収等大変そうでしたが、会員より、お客さんへの呼びかけ、売り方を教えてもらい少しは勉強になったのではないかと思います。品物は約2時間で全て完売となり、売上の140,925円は、広場で贈呈式を行い、「あらぐさまつり実行委員会」に寄付いたしました。後で、当日売上と寄付合計で68万円であったと実行委員会からの報告があり、当クラブとしても少しはお役に立ったと会員一同喜んでいる次第です。

地区内各クラブ事業報告(2)

「フィリピンの子供達に一足早いクリスマスプレゼントを」

王寺ロータリークラブ 国際奉仕委員長 北之坊 和代



今年度国際奉仕委員会は、今までに私達のクラブがやった事の無い国際奉仕活動をしようと、フィリピンの子供達に学用品を贈ることを計画しました。大阪の八尾市に本部がある日本国際飢餓対策機構の有江 健常務理事様(東大阪中央RC)にこの計画にご相談に乗って頂き実現する事ができました。まず、子供達にはノート、鉛筆、ノック式のボールペン、消しゴム、鉛筆削り、そして折り紙のプレゼントをと決め、会員の皆様にノート、鉛筆、ボールペンのご寄付をして頂きました。一般の方達からも沢山の学用品をご寄付して頂き感謝で一杯でした。足りない分を委員会費用で賄い万事OK、そして後は出発を待つのみとなりました。平成15年10月22日から24日のとても短い日程で出発したフィリピン訪問は、マニラ国際空港に到着した瞬間から私達はロータリーの友情に恵まれて、有江さんのお友達でいらっしゃる3780地区のケソン市北RCメンバーのヴェネラシオさん(ロータリー財団スープ・キッチン創設者・マニラ地方裁判所判事)のお出迎えを受けました。そして翌日、私達はマニラ市内から1時間、東に位置したフェアビュー地区の150人の子供達にプレゼントを届けました。車から降りるとフィリピン国花であるサンバギータのお花を首にかけてくれて、歓迎の歌を笑顔一杯で歌って出迎えてくれた時は胸が一杯になりました。キラキラした瞳、素敵なお笑顔、本当に素晴らしい子供達ばかりです。今回一緒させて頂きましたオペラ歌手の内海緑さんに日本の童謡を歌ってもらい、「茶摘」では子供達と一緒に遊び、また、折り紙で兜や風船を折って遊びました。その後、ロータリー・スープ・キッチン財団、フード・バンク・アンド・トレーニングセンターにお招きを受け、お昼をご馳走になり、センターを見学させて頂きました。そこは、職業訓練所になっており、コンピューター、ミシンの部屋があり、大人から子供が職業につくための訓練を受けていました。(全てRCからのご寄付によるものです)そして最後の目的地であるスモーカー・マウンテン(ゴミの山)に行きました。私達は言葉が出ませんでした。とにかくすごい!!ここに住んでいる子供達は1日1回の食事しかできず、8時間もゴミを拾って80円の収入しかないと聞き驚きました。当然、学校には行けないのです。先程紹介した、フェアビューの子供達も里親がいてその方達が支援をしているから、かろうじて学校へ行く事が出来ています。でも、このスモーカー・マウンテンの子供達の現状はもっとひどいのです。私達の無力を感じました。でも、ロータリークラブは無力ではありませんでした。この子供達にロータリー・スープ・キッチンの創設者のヴェネラシオ氏は、毎日200人分の食糧を運んでいらっしゃいます。今回、一緒させていただく事が出来、私達もお手伝いをさせて頂きました。こんな貧困の中でも子供達は、とても明るく笑顔でした。こんなに短い期間でしたが、私達はフィリピンの子供達の現状を一瞬でも垣間見れたと思います。今年のテーマ「手を貸そう」、まだまだ神様から授かった子供達に手を貸さなくてはいけない事を実感した旅でした。そしてこんな貴重な体験をさせて頂いた事に感謝します。



2003年10月7日(火) 福井フェニックスロータリークラブ

松原 六郎会長 小澤 恵三幹事

松原会長・小澤幹事の歓迎のもと公式訪問する。女性会員が7名もおられ、しかもクラブは男女とも和気藹々と大変和やかで、ロータリー財団、米山記念奨学とも委員長は女性であるが大変な効果をあげておられる。

(谷川 國男 記)



2003年10月8日(水) 園部ロータリークラブ

柴田 勝会長 西村 砂千雄幹事

公式訪問例会にインターアクトクラブの女子高生も出席。献血協力や中学生を対象にした「ナックル・フォー体験レガッタ」など地域密着型の活動が印象的。On To 大阪委員会を設けて大阪国際大会全員参加を目指す。活気のあるクラブ。

(吉本 義俊 記)



2003年10月9日(木) 奈良西ロータリークラブ

山崎 丈雄会長 小原 壮一幹事

公式訪問時に、1人の入会式がおこなわれたことは、よろこばしい事。ガバナーの訪問を会長をはじめ、奈良西ロータリークラブのみなさんが、敬意をもって迎えていただいた事が表れた訪問でした。

(福井 康裕 記)



2003年10月10日(金) 綾部ロータリークラブ

大島 功会長 由良 大司幹事

来年、6月は創立50周年。壮大な記念植樹「綾部千本桜・モンゴル千本桜」を広く市民に呼びかけ着実に進展。子供達へは農業体験学習の場を提供するなど、地域に根ざした奉仕活動に感動を覚えました。

(駒 重則 記)



2003年10月14日(火) 福井南ロータリークラブ

原田 和夫会長 岡島 和憲幹事

厳しい世情にあって、ロータリーの原点回帰を「友情」にもとめる、心暖まるクラブでした。「退会防止委員会」は必要のない言葉には、ロータリー家族委員会への期待と増強への自信が窺えました。

(駒 重則 記)



2003年10月15日(水) 大津東ロータリークラブ

高野 弘会長 岩城 良夫幹事

例会に先立ち、メンバーのお手前でお茶を頂き、和やかな雰囲気スタート。来年4月「ストラダ(道)」をテーマに全会員が職業を生かした無料相談所を設けるなどの大イベントを計画。会長方針「増強がクラブの活力源」のもと増強に力を入れている。

(吉本 義俊 記)



2003年10月16日(木) 大津西ロータリークラブ

西山 英男会長 西村 武司幹事

若い西山会長の“ロータリーを楽しもう”のスローガンのもと、クラブが和気あいあいと実に和やかに奉仕活動を進めておられる。クラブ協議会も、実に終始熱の入った会議であった。

(谷川 國男 記)



2003年10月17日(金) 鯖江ロータリークラブ

下村 義孝会長 堀 文治幹事
 伝統あるクラブにも女性会員が3名おられ、会長の発想で入会2年目の増強委員長同じく親睦委員長(女性)を起用され、全会員でフォローし、支えて盛り上げて頂いているように感じました。市長様はじめ商工会会頭、議員様といった方々がメンバーでおられ、地域にロータリーがご理解頂いているクラブだと思いました。
 (高見進記)



2003年10月21日(火) 福知山西南ロータリークラブ

正木 明会長 高橋 明雄幹事
 ロータリーに対する考え方、ホームクラブへの出席率の高さ、又、ロータリー研究会という同好会もあり、地域に根ざした奉仕活動、新世代(青少年)との情報交換、家族を重んじるといった今年度の会長テーマに沿った活動をされている。
 (高見進記)



2003年10月22日(水) 栗東ロータリークラブ

河合 利夫会長 宮城 宏己幹事
 河合会長様は『楽しいロータリー活動の源は「例会」であり、又、義務感ではなく、楽しみながら出席出来る例会であるべきだ』と言われております。会長・幹事懇談会、例会、クラブ協議会とわきあいあいと楽しく進行しました。創立20周年を迎えられ、会員の皆様と共に楽しい記念事業を展開される事と思います。
 (山崎彦人記)



2003年10月23日(木) 峰山ロータリークラブ

伊東 眞会長 足達 明幹事
 会長・幹事のご尊父はお二方ともパスト会長。80歳代でバリバリの現役ロータリアン。お二人ともガバナー表彰を受けられました。父親の厳しさと新しい職業倫理の台頭を感じさせる、古くて若々しいクラブでした。
 (駒重則記)



2003年10月24日(金) 長浜東ロータリークラブ

国友 美丸会長 松宮 顕昭幹事
 湖に面し、長浜城を背に、風光明媚の素晴らしい例会会場でした。創立以来、毎年ガバナー公式訪問時に、長浜城周囲の「みどりの森」に記念植樹をされており、当日も早速、福井ガバナーと国友会長が鍬入れをされました。大変な力の入れ方に感心しました。
 (藤田武則記)



2003年10月27日(月) 大和郡山ロータリークラブ

幸田 繁男会長 前川 真澄幹事
 幸田会長、前川幹事の公式訪問に際しての適切な接待には感心する。会員増強と退会防止には非常な熱意でとりくんでおられ、何としても本年5名の純増をなしとげたいとの事。(会員60名)
 (谷川 國男記)



2003年10月28日(火) 滋賀湖北ロータリークラブ

河合 環会長 川瀬 利弥幹事
 丁度オーストラリアのシドニーからのGSEのメンバー5名と一緒に例会をし、彼等の自己紹介や現地のスライドを拝見して、国際交流を深めて参りました。水と緑と観音様の高月町にある会員数30名の一騎当千の元気なクラブでした。
 (藤田武則記)



2003年10月29日(水) 高島ロータリークラブ

土井 誠賢会長 石川 忠史幹事

各委員会の計画書に歴代続いているという会長希望というメッセージが記載されています。ロータリーに対する思いが最近緩くなったと不満で退会されたという実例をあげられ、メンバーが減少している現状を最重要課題として増強に力を注いでいただいている。
(高見 進 記)



2003年10月30日(木) 草津ロータリークラブ

伊藤 勝昭会長 高田 英二幹事

人が入会を希望する魅力あるロータリークラブを実現するためにメンバー全員で行動する年度をと、伊藤会長のリーダーシップの行き届いた、まとまりのあるクラブであり、例会、クラブ協議会も楽しく有意義なものでした。
(高橋 秀和 記)



2003年11月4日(火) 彦根南ロータリークラブ

宮川 孝昭会長 松宮 一幹事

会長幹事会に続いて、歴代の会長の懇談会には、相当な高齢にもかかわらず多数ご出席頂きクラブの重みを感じました。協議会に於いても、会長の明るさが全面に出ており、“不易流行”のテーマにふさわしい活発な活動計画取組についての報告でした。
(高見 進 記)



2003年11月5日(水) 京都朱雀ロータリークラブ

乾 満久会長 和多田 久太郎幹事

京都南 RC をスポンサークラブとし、1993年3月に創立した会員数45名の中堅クラブです。リーガロイヤルホテルにて10時40分からの会長幹事懇談会に始まり、アッセンブリーに至るまで、終始和やかで楽しい一日でした。
(藤田 武則 記)

姉妹クラブ締結しませんか？

国際ロータリー第3590地区晋州仙鶴ロータリークラブより姉妹クラブ締結依頼が届いております。興味のあるクラブは、ガバナー事務所までご連絡下さい。

晋州仙鶴ロータリークラブ現況

- 我々の仙鶴ロータリークラブは1988年6月7日創立して、1988年11月27日承認を受けて現在16年次向かっており、毎週月曜日7時に晋州市鳳谷洞23-13番地にあるロータリー会館で週会を行っている。
- 現在在職会員は113名の会員で構成し、我々の3590地区内で最多会員保有クラブである。

【財政状況】

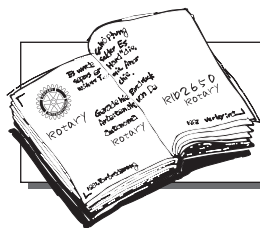
- 仙鶴自體奨学金は40,000,000 萬元(400 萬元)程度であり、現在奨学生85名に奨学金を支給。
- 韓国文化財団奉仕の人は202名で、奨学積立金は60,000,000 萬元(600 萬元)積立。
<年400 萬元奨学金支給(40 萬元)>
- 現在本クラブPHFは70口座であり、国際ロータリー財団に79,690,000(797 萬元)積立。

【外部親睦奉仕活動として】

- 1999年12月に益山馬韓ロータリークラブ(全羅北道)と姉妹結縁調印を行い、毎年3回に渡って訪問と合同夏季奉仕活動を行っている。
- 我々のクラブから育成する青少年ロータリークラブである晋州仙鶴インターアクトクラブは晋州女子高等学校42名で構成しており、奉仕ができるよう支援をしている。

【年間主要奉仕活動】

- 奉仕活動としては夏季農村奉仕活動、国際奉仕活動(再昨年:中国吉林省渭吉市朝鮮族医療奉仕、昨年:中国ナイモンゴロウラント市朝鮮族医療奉仕、今年8月12日からUZBEKISTAN医療奉仕)、毎年仲秋節、年末、舊正月、不遇隣助、少年少女助、高等学生、大学生たちに奨学金支給その他各種ロータリー主要行使に積極参加支援している。
- 我々の地区(3590)から3年連続最優秀クラブに選ばれる。



文庫通信 (194・195号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

—ロータリー文庫 2002～2003年度会計報告—

貸借対象表

資 産		負 債	
現 金	64,328	雇用保険料預り金	10,101
普通預金	7,832,829	社会保険料預り金	239,034
定期預金	5,000,000	負債合計	249,135
仮 払 金	100,631	正味財産	
現金貯金額	12,997,788	次期繰越剰余金	12,748,653
合 計	12,997,788	合 計	12,997,788

収支計算書

収 入		支 出	
会費収入	33,157,350	委員会費	1,644,989
雑収入	298,585	業務費	5,048,072
		貸貸管理費	13,517,459
		人件費	16,207,783
		予備費	476,260
当期合計	33,455,935	当期合計	36,894,563
前期繰越収支差額	16,187,281	当期収支差額	△3,438,628
収入合計	49,643,216	次期繰越収支差額	12,748,653

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

—先輩ロータリアンの文献—

- ◎ 「満州におけるロータリー運動の展望 他」 佐々木孝三郎 1974 27p (遺稿集から)
- ◎ 「満州のロータリーのことも(インタビュー)」 佐々木孝三郎 1968.9 4p
(ロータリーの友)
- ◎ 「戦前の日本ロータリー」 直木太一郎 1974 25p
- ◎ 「日本ロータリー史」 直木太一郎 1971 37p
- ◎ 「ロータリー日本伝来のルーツとその後の経過 その1」 平島健次郎 1982 28p
- ◎ 「温故知新 ロータリーの今昔」 遠藤健三 1987 7p
- ◎ 「鼎談 ロータリーは紳士の道場—戦前、戦後のロータリーを回顧して」
絹川清・石川芳次郎・鳥養利三郎 1967.12 5p (ロータリーの友)
- ◎ 「日本におけるロータリーの歴史」 阿部謙夫 1976 11p (D.350年次大会講演)
- ◎ 「日本ロータリー再建の頃」 ジョージR. ミーンズ 1976.9～1977.4 27p
(ロータリーの友)
- ◎ 「火種はみんな持っている(抄)」 松本兼二郎 1969 32p

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc 会館 7F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

